

**製品名: FANCA (リン酸化 Ser1149) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04664**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	162kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FANCA
別名	FANCA; FAA; FACA; FANCH; Fanconi anemia group A protein; Protein FACA
遺伝子 ID	2175.0
SwissProt ID	O15360
免疫原	抗血清は、Ser1149 のリン酸化部位周辺のヒト FANCA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1121-1170

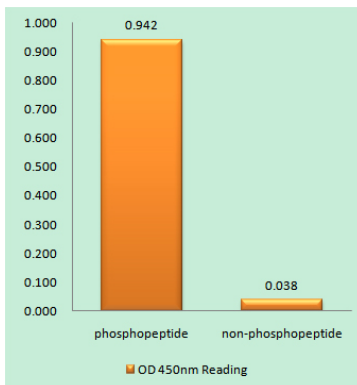
**背景**

ファンconi貧血相補群 (FANC) には現在、FANCA、FANCB、FANCC、FANCD1 (BRCA2) とも呼ばれ

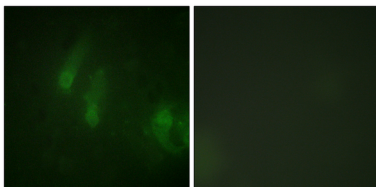
る)、FANCD2、FANCE、FANCF、FANCG、FANCI、FANCI (BRIP1 と呼ばれる)、FANCL、FANCM、FANCN (PALB2 と呼ばれる)が含まれます。以前に定義されたグループ FANCH は FANCA と同じです。ファンconi貧血は、細胞遺伝学的不安定性、DNA 架橋剤に対する過敏症、染色体切断の増加、および DNA 修復欠陥を特徴とする遺伝的に異質な劣性疾患です。ファンconi貧血相補群のメンバーは、配列の類似性を共有していませんが、共通の核タンパク質複合体へのアセンブリによって関連しています。この遺伝子は、相補群 A のタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。この遺伝子の変異は、ファンconi貧血の最も一般的な原因です。[RefSeq 提供、Juldisease:FANCA の欠陥はファンconi貧血 (FA) [MIM:227650]の原因です。FA は遺伝的に異質な常染色体劣性疾患で、進行性汎血球減少症、多様な先天性奇形、悪性腫瘍発症の素因が特徴です。細胞レベルでは、DNA 損傷因子に対する過敏症、染色体不安定性 (染色体切断の増加)、および DNA 修復欠陥と関連しています。機能:複製後修復または細胞周期チェックポイント機能に関与する可能性のある DNA 修復タンパク質。鎖間 DNA 架橋修復および正常な染色体安定性の維持に関与している可能性があります。PTM:DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。リン酸化は核複合体の形成に必要です。A 群、B 群、C 群、E 群、F 群、G 群、および H 群由来の細胞ではリン酸化されない。細胞内局在: 主要型は核内、副次型は細胞質内。サブユニット: FANCA、FANCB、FANCC、FANCE、FANCF、FANCG、FANCL/PHF9、および FANCM からなる多サブユニット FA 複合体に属する。この複合体は FA 患者には認められない。

## 研究分野

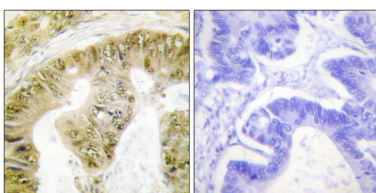
## 画像データ



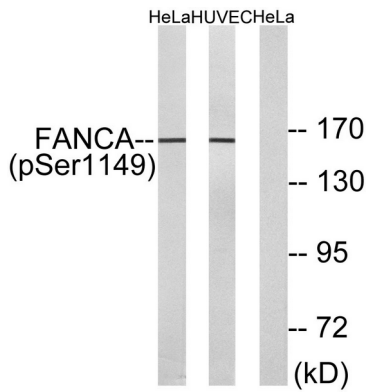
FANCA (リン酸化 Ser1149) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



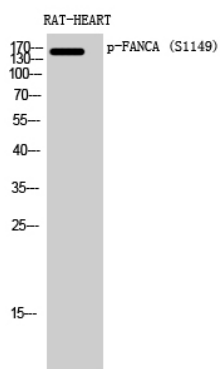
FANCA (リン酸化 Ser1149) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



FANCA (リン酸化 Ser1149) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



IGF 100 ng/ml 10 'で処理した HeLa 細胞および EGF 200 ng/ml 30 'で処理した HUVEC 細胞のライセートを、FANCA (リン酸化 Ser1149) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸 FANCA (S1149) ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いたラット心臓細胞のウェスタンブロット解析